

記念事業



揖斐川流域の暮らしを 守り続ける越美山系砂防

越美山系は標高1,200m級の山々からなり、揖斐川とその支流である根尾川の源となる急峻な溪流が数多く存在します。また、この地域は国内有数の多雨地帯でもあり、脆弱な地質と相まって、有史以来度重なる土砂災害に見舞われてきました。昭和43(1968)年、国による砂防事業が開始され、今日に至るまで長年にわたり砂防施設の整備が進められたことで、揖斐川流域の安全・安心な暮らしが守られています。この地域における土砂災害に対する備えと砂防の重要性を再認識していただくため、記念事業を開催いたします。



防災講演会

日時

平成30年

11月18日(日)

10:30~11:30 (開場 9:20)

会場

揖斐川町地域交流センター
「はなもも」2階多目的室
(岐阜県揖斐郡揖斐川町上南方27番地7)

**入場
無料**

事前申し込み不要
(定員150名)

※当日定員に達した場合はご入場いただけない場合があります。



講演タイトル

**気象災害から
命を守る！**

～土砂災害に備えた気象情報の活用～

講師

気象キャスター

岡安里美氏

埼玉県出身。大学在学中に気象予報士の資格を取得。NHK徳島放送局の気象キャスターを2年間担当した後、2018年4月からNHK名古屋放送局「おはよう東海」の気象キャスターを務めている。

同時開催

◆会場内ロビー

- ・根尾小学校児童が描いた土砂災害防止ポスターの展示
- ・坂内小学校児童が制作したコンクリート手形の展示
- ・SABOカード配布 ・パネル展示 等々

◆2階会議室

記念式典(9:30~10:15)



※当日はいびがわ産業フェスティバルが開催されている為、会場付近は混雑が予想されますのでご了承ください。

いびがわ産業フェスティバル

町やJAなどが連携して開催する地域活性化イベント。グルメコーナー、特産品販売、各種ショーなど様々な行事が行われ、毎年多くの来場者で賑わいます。今年は11月17日・18日に開催されます。

主催

越美山系砂防事業推進協議会
国土交通省 越美山系砂防事務所

後援

越美山系砂防ボランティア協会

問合せ先

越美山系砂防事務所 総務課 TEL 0585-22-2161
<https://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/>

詳しい内容は
HPをご覧ください。

越美山系砂防事務所 事業の歴史

明治
24年

濃尾地震

10月28日、本巣郡根尾谷（現本巣市根尾）を震源として発生したこの地震は我が国の内陸部に起こった直下型地震としては観測史上最大のもので、7,000人以上の死者を出すなど、とても悲惨なものでした。震央の岐阜県北西部では断層が形成され、最も顕著なのが水鳥に出現した断層で、上下変位5～6m、水平変位2～4mに達しました。

ナンノ谷大崩落

28年

明治28年8月5日、揖斐川町坂内川上のナンノ谷で大雨による大規模な崩壊が発生しました。2度発生した崩壊の推定の崩壊土砂量は約153万m³で、坂内川上、広瀬、坂本などで死者4名、流失家屋23戸の災害が発生しました。



8月21日-23日、台風6号による豪雨で、揖斐川町坂内ではいたる所で溪流が氾濫。坂本地区の友谷や川上浅又川等では土石流が発生し、家屋全壊1戸、半壊3戸の被害に見舞われました。

「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」の第1次指定

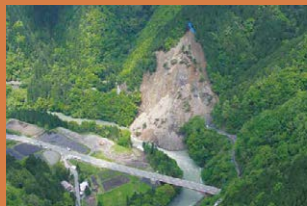
3月31日での指定を受け、必要な砂防えん堤と魚道の設置を開始しました。

7月28日の豪雨により、本巣市越波地区や下大須地区などで土砂災害が発生しました。また、10月の台風による豪雨では、揖斐川町藤橋東横山地区の梶谷において土砂が流出。下流家屋に被害が生じました。



東横山地すべり

揖斐川町東横山地区にて、4月中旬より小規模の崩壊が発生。その後、5月10日～11日の降雨により、5月12日～13日にかけて、2回の大規模な地すべりが発生しました。



根尾大河原で土石流発生



台風11号により8月10日、本巣市根尾大河原で土石流が発生。国道157号に土砂が流出、路上に堆積しました。

八草川 山腹崩壊

1月11日、揖斐川町坂内川上地区内で高さ約80m、深さ約10mの山腹崩壊が発生。約2万m³の崩壊土砂が八草川に流入しました。



揖斐川町坂内川での土砂・流木流出

台風16号により9月17～18日に、揖斐川町坂内川品又谷で土砂・流木が流出。流木による橋梁の閉塞（土砂の堰上げ）も発生しました。

越美山系大規模土砂災害危機管理連絡調整会を設立

大規模な土砂災害が発生または発生の恐れがある場合等に、必要と考えられる対策を実施するため、関係機関との認識を共有するための情報交換を行うとともに、災害時の役割分担や連携内容を調整することで、関係機関と連携した危機管理体制の充実強化を図ることを目的に設立されました。

奥越豪雨

徳山白谷大崩落

根尾白谷大崩落

砂防調査開始

9月に発生した2つの大崩落を受けて、11月には揖斐川上流域の砂防調査が開始されました。



9月14日-15日、台風23-24号と前線の影響により、山崩れによって小学校が倒壊、揖斐川町藤橋杉原地区では東前の谷が氾濫し、全壊及び流失が30世帯、半壊20世帯、床下浸水10世帯という災害に見舞われました。揖斐川町久瀬、本巣市根尾においても洪水による家屋の浸水、橋の流失、道路の損壊、農地の流失埋没等に見舞われました。



直轄砂防事業着手

2月の事務所発足とともに、「揖斐川上流砂防基本計画」も策定されています。

全国で「土石流危険渓流・区域調査」を実施

昭和53～55年度の3ヶ年で実施され、越美山系砂防工事事務所管内でも調査が行われました。

53年

61年

平成
元年

平成
4年

10年

11年

14年

15年

16年

18年

20年

22年

23年

24年

26年

30年



久瀬村、根尾村（梅見より下流）区域が直轄編入



9月1日-7日にかけての集中豪雨により、揖斐川町久瀬小津を含め各地の小溪流において土石流が発生、家屋や道路等に被害が発生しました。

本庁舎竣工

11月、新しい本庁舎が完成しました。

越美山系砂防事務所に名称変更

4月、越美山系砂防工事事務所から越美山系砂防事務所に名称を変更しました。



揖斐川砂防出張所庁舎完成

西濃豪雨

9月2日～3日にかけて、低気圧の影響により、揖斐川町東津波で579mmを記録する大雨となり、各地で土石流が発生し、国道303号も39時間にわたり通行止めとなりました。



根尾越波での土石流

8月24日～25日の集中豪雨により、本巣市根尾越波周辺で土石流が発生しました。



事業開始50周年